

令和8年度 総合型選抜（AO型選抜）

（水産学部水産学科）

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで問題用紙を開かないこと。
2. 解答時間は90分である。
3. 問題用紙（表紙、白紙を含む）は5枚、解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚である。落丁、乱丁、印刷の不鮮明なものがあったら申し出ること。
4. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
5. 解答は、必ず解答用紙の所定の欄に記入すること。
6. 解答は、解答用紙に横書きし、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きで記入すること。
7. 解答に字数制限がある場合には、句読点および単位（例：kg）は1マスとすること。
8. 試験終了後、解答用紙、問題用紙、下書き用紙を回収するので、持ち帰らないこと。

問題

【図表の説明】

表1は、日本国においてブリ養殖業およびカキ養殖業を営む個人経営体¹の2021年から2023年までの経営状況（収獲量、漁労²収入、漁労支出とその内訳）について示している。図1は、日本国における2000年から2024年までの魚粉輸入価格の推移を示している。

問1.

表1から、ブリ養殖とカキ養殖の経営状況の違いについて読み取れることを250字以内で説明しなさい。

問2.

ブリ養殖を営む個人経営体が漁労支出を減らすために行える有効な方法としてどのようなことが考えられるか、具体的な方法について300字以内で述べなさい。なぜその方法が有効であると考えたのか、その理由も図1および表1にもとづいて説明すること。

なお、ブリ養殖の餌には主に配合飼料が用いられ、その中には魚粉が50%程度含まれている。

¹ 個人経営体とは、個人（世帯）で事業を行う経営体をいう。法人化して事業を行う経営体は含まない。

² 漁労とは、事業として水産物を捕獲・収獲することをいう。

表1 日本国内のブリおよびカキ養殖業（個人経営体）の2021年から2023年までの経営状況

養殖業種	ブリ養殖			カキ養殖			
	2021	2022	2023	2021	2022	2023	
年（西暦）	2021	2022	2023	2021	2022	2023	
収穫量（kg）	138,096	119,768	116,220	25,462	28,362	26,306	
漁労収入 （千円）	122,247	134,923	128,542	27,193	34,191	37,143	
漁労支出 （千円）	132,182 (100%)	133,745 (100%)	145,912 (100%)	23,607 (100%)	25,606 (100%)	27,015 (100%)	
漁労支出内訳	雇用労賃 ³	3,877 (2.9%)	4,389 (3.3%)	3,648 (2.5%)	7,294 (30.9%)	8,348 (30.9%)	
	漁船・漁具費（修繕を含む）	2,501 (1.9%)	3,113 (2.3%)	3,079 (2.1%)	1,774 (7.5%)	1,540 (6.0%)	1,922 (7.1%)
	油費	1,830 (1.4%)	1,778 (1.3%)	1,895 (1.3%)	712 (3.0%)	901 (3.5%)	884 (3.3%)
	餌代	84,417 (63.9%)	83,604 (62.5%)	110,984 (76.1%)	2 (0.0%)	2 (0.0%)	- (-)
	種苗 ⁴ 代	7,430 (5.6%)	9,988 (7.5%)	17,589 (12.1%)	1,243 (5.3%)	1,350 (5.3%)	1,706 (6.3%)
	その他	32,127 (24.3%)	30,873 (23.1%)	8,717 (6.0%)	12,582 (53.3%)	13,791 (53.9%)	14,155 (52.4%)

出典：「漁業経営統計調査報告」（農林水産省）による。ただし、2021年から2023年までの同調査報告から、一部抜粋・改変の上、表作成を行った。

- ※ 表中に示した収入、支出各項目の金額は、調査対象とした経営体の合計金額を経営体数（ブリ養殖：15、カキ養殖：53）で除することにより得た平均金額である。
- ※ 表中の漁労支出欄に示した括弧内の数値は、漁労支出合計に占める各項目の支出の割合を百分率で示したものである。数値は小数点第2位を四捨五入しているため、支出内訳の百分率合計は100.0%になるとは限らない。
- ※ 表中の -（ハイフン）は、給餌の実施事実のない項目であることを示す。

³ 雇用労賃とは、労働に対して支払われる報酬であり、賃金と同義である。

⁴ 種苗とは、栽培漁業や増養殖のために使われる、水産動物の稚魚・稚貝などの総称である。

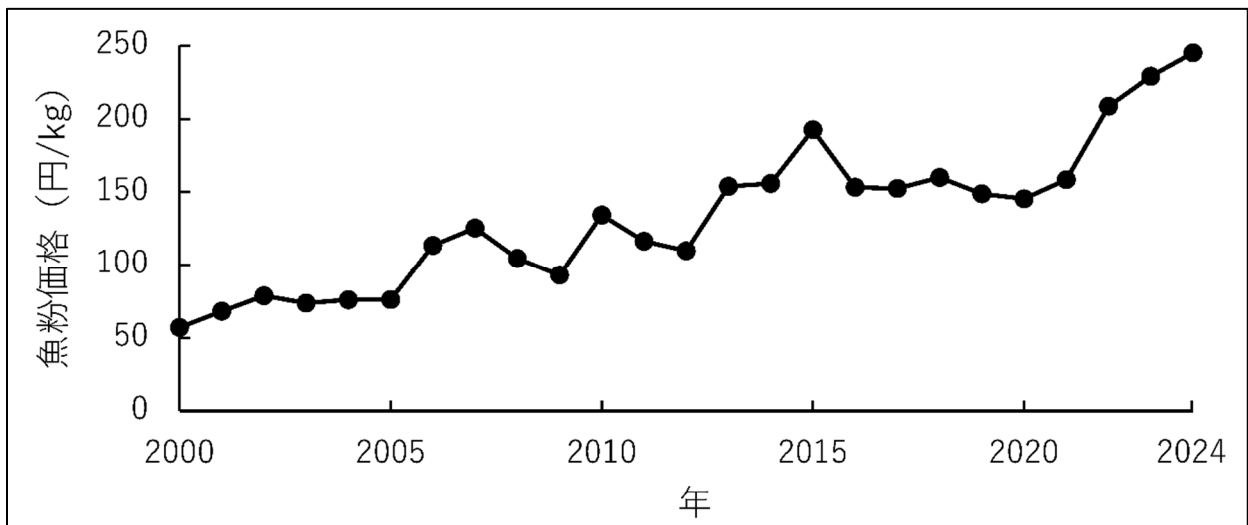


図1 日本国における2000年から2024年までの魚粉輸入価格の推移

出典：「農林水産物輸出入統計」（農林水産省）による。ただし、2000年から2024年までの同統計から、一部抜粋・改変の上、図の作成を行った。